

つなぎの達人に聞く! 地域における パートナリシップ創造

人と人、人と地域、人とサービス…。地域崩壊を指摘する声がある中で、福祉の枠組みにとどまらず人と人、人と地域、人とサービスとをつなぐ取り組みが各地で試行錯誤されています。
どこで、誰が、どんな風につながっていきなのか。今回はその「達人」に極意を聞きました。



千葉良一さん(右)と旧町会長の宗野文秋さん(左)

町会加入率100%! マンション住民の心が入った「止まり木」

「小鳥たちが立ち寄る枝が『止まり木』ですが、455世帯1,500人を超えるマンション『コスモふじみ野』もそんな風感じます。ここは町会への入会率100%。しかも止まり木は1本ではなくて新年祭、納涼祭、ふれあい・交流の集い、ゴミゼロ運動、救急救命訓練など、それらが全部コスモ住民によるコスモ住民のためのものです。」

コスモふじみ野町会

副会長 **千葉良一** さん(ふじみ野市)

コスモふじみ野町会は平成12年4月にコスモふじみ野内のコミュニティ団体として設立され、町会相互の親睦を深め、住みよい環境の整備と住民の福祉の向上ならびに教育・文化の充実を目的として活動が展開されています。

住民が主役 無理強いせずに時間をかけて

「『煩わしい』『何をやっているのか分からない』という考え方には苦勞しましたが、コミュニケーションを心がけ、行事の内容を工夫し、無理強いせずに出やすい場所づくりを目指しました。かかわる人が増えてきたことが嬉しい。好きな人だけでは広がりません。住民を応援する町会という考え方が最優先です。」

自治会サロンへ 認知症の方に参加していただき…

「公民館や自治会館で2か月に1回、民生委員の皆さんと事例検討をしているので、状況がひどくなる前に民生委員から相談が持ち込まれるようになりました。また自治会主催のサロンでは単にお茶とおしゃべりだけでなく、認知症のお年寄りに参加してもらい、認知症の方々と地域で一緒に暮らすために何が必要かを考えていただいています。」



在宅介護支援センターつばさ 社会福祉士 **門ひかる** さん(川越市)

在宅介護支援センターつばさは、川越市から委託を受けた公的な相談機関として、高齢者の生活支援・在宅での高齢者介護の総合相談を行っています。

種をまくよりも種まきしてくれる人を探す

「民生委員との事例検討会をきっかけにボランティアによる見守り活動が始まるなど住民同士の顔が見えるつながりができてきました。専門職の役割は重要ですが、むしろ住民の皆さんのパワーを信じて一緒に地域づくりをしていくことを大切にしています。自分が種をまくというよりも地域で種をまいてくれる人を探しています。」

達人たちの極意に学ぶ

NPOの活動者、町会の役員、在宅介護支援センターの専門職という三者三様の“つなぎ技”をお聞きしました。立場こそ違え、そこに共通するものとして個人個人への暖かなまなざし、相手を信じる気持ち、まちを良くしようという純粋な思いを見てとることができます。

地域の今と将来を見据え、既存の制度や枠組みにとらわれずに立場や分野を超えてつながっていく、三人はその大切さを物語ってくれています。

草の根のアメーバのような…

「さまざまな壁を取り払って誰にも住みよいまちを創っていくことが私たちの目的です。調査研究・高齢者・障がい者・国際化・子育て・地域づくり・男女共生の7つのパーシャルネット(課題別ネットワーク)があって、会員であるネットワークがそれぞれ草の根のアメーバのように講演、学習、調査などの活動を行なっています。」



「個」に注目した自由なつながり

「ある会員はサラリーマン退職後に草加市の広報を読んで会に参加し、仲間とともに成年後見制度の講演会や勉強会、先進地の視察などを企画して積極的に活動しています。ネットワークとはいつでも、人々の思いを大切に自由につながろうとするところが特徴で、個々の違いを尊重し、理解しながら進めていくことで大きな力になっています。」

みんなのまち草の根ネットの会(通称:草の根ネット)は、平成8年3月(NPO法人格取得は平成14年8月)に設立され、登録者数は約800人。性別、年齢、国籍、障がいの有無などの壁を取り払い、誰にも住みよいまちづくりを進める活動を行っています。

特定非営利活動法人
みんなのまち草の根ネットの会
会長 **宮本節子** さん(草加市)